

GODAI TOPICS

2015年1月

#18

田辺市本宮町 虹の木工房

立木染作家 吉水栄樹さん

「大きいですねえ！」

そう言いながらも、紀州五代梅入りのおにぎりを美味しそうに完食してもらえました。普段から紀州五代梅を贈り物などに使っている「遠方の方など、喜んでいただいています」とのこと。自宅用としても購入いただいています。

「美味しいですよ」

静かな山間の集落にある工房で、間伐される木を使って作られる立木染のアクセサリ。

ジャズとコーヒー、そして写真好きな吉水さんに、ゆっくりとお話を伺ってきました。

▶▶続きは裏面へ

紀州五代梅
550g ¥3,240(税込)



五代庵

© 2015 Godai Ume Co., Ltd.

和歌山の仕事を 見に行こう。

二〇一五年のトピックスでは、和歌山県で、それぞれの土地の風土と向き合いながら、そこでできない仕事をさせている人達を紹介していきます。

第一回は、世界遺産の熊野古道で有名な、田辺市本宮町の「立木染／虹の木工房」さまを訪れました。



大阪方面からは、国道42号線を南下して、熊野街道、国道311号線をひたすら東に進みます。「上地バス停」が目印。ナビの設定は住所が確実です。

右：色とりどりのボールペン。手にしっくりなじみます。

下：ペンダント。塗装と研磨を繰り返してできる輝きは、一瞬素材が木であることを忘れてしまいます。



年輪1本1本に、実にきれいに塗料が吸い込まれてます。じっくり見ていると、木片の中に自然が感じられるよう。

立木染とは？

自然に生きている状態の木に染料を注ぎ、木が水分を引き上げる蒸散作用を利用して染める作品です。この技法は虹の木工房さま独自で開発したもので、染め上げた木からペンダントやブローチなどのアクセサリに加工して販売されています。完成まで最低半年から8ヶ月もかかる作品からは、木そのものが持つ神秘的な美しさを感じます。



色合いが絶妙な花器は生ける花を選びません。



「立木染 虹の木工房」
和歌山県田辺市本宮町皆地 640
☎ 0735-42-0364
☎ 090-2709-7231
✉ information@nijinoki.com
(営) 土・日・祝日／平日は不定休

吉水さんの山や木に対する想いを聞いているうち、自然の音や光を感じ、そして自然と寄り添って生きることは、人間として健全な姿に立ち戻ることだと感じさせられます。何十年をも先を見越して、木一本一本と向き合うその作業は孤独で過酷。それでも、この地で続けていきたいと微笑む、立木染作家、吉水栄樹さんの「やっぱり楽しいんよ」の一言がとても印象的でした。

訪れたのは十二月の始め。快晴だったみなべ町から山へ山へと進んで行くと、店主の吉水さんから「雪が降ってるから気をつけて」と連絡がありました。案の定、本宮町に入る頃には山頂は白く積もり、雪がちらつていました。
工房に着くと、待つてましたとばかりに迎えていただき、明るい笑顔と大きな声でいろいろな話を聞かせてくれました。家業であった林業の事、立木染を始めたきっかけ、続けていく意味などを真剣な表情で話してくれたかと思うと、ひとたびカメラや音楽の趣味の話になればそれはそれは楽しそうに、自身やお父様の作品なども見せてくれました。

梅でつながる暮らし



紀州梅専門店

五代庵

http://www.godaiume.co.jp

商品に関するお問い合わせは

五代庵 通信販売部

☎ 0120-12-5310

FAX 0739-74-2682

※携帯・IP電話からは0739-74-2487まで

創業天保五年

株式会社 東農園

〒645-0021

和歌山県日高郡みなべ町東本庄 836-1

編集後記

○18号、もう3年です。今回からデザイン・企画も一新。さあ次はどんな人に出会えるでしょう？ (企画部 S)

○ペンダント1つ頂きました。宝物です。 (企画部 K)